

2023年10月21日

こども家庭庁長官官房参事官
(総合政策担当) 付企画調整係 御中

子どもたちにもう1人保育士を！全国保護者実行委員会

「今後5年程度を見据えたこども施策の基本的な方針と重要事項等 ～こども大綱の策定に向けて～ (中間整理)」についての意見書

私たち「子どもたちにもう1人保育士を！全国保護者実行委員会」は、75年間も変わらない日本の保育士配置基準の改善を求めて活動をしています。あまりにも劣悪な配置基準は、子どもたちの命にも関わる重大な事故の大きな原因となっているだけでなく、子どもの発達や意見表明権、遊びの多様性を保障することを困難にしています。

私たちが行っている「全国保護者アンケート (2023年10月末〆切)」には、47都道府県から合わせて6,765人の方が回答を寄せています (10月21日時点)。そこには、保護者の叫びとも言える切実な声が多く寄せられているとともに、保育士・保育園への感謝の思いが溢れていました。

私たちは、愛する我が子や我が子のお友だちはもちろん、すべての子どもたちにとって『最善の利益』が保障されることを願い、今回示された「今後5年程度を見据えたこども施策の基本的な方針と重要事項等～こども大綱の策定に向けて～ (中間整理)」 (以下「中間整理」という) について、保育園に子どもを預ける保護者の立場から、以下、意見を述べます。

【意見】

- こども大綱に、子どもの権利を十分保障するために目指すべき職員配置基準を明記し、処遇改善とあわせて早急を実現していくことを求めます。
- 中間整理には保育士等の職員配置基準等の改善の理由として「保護者・養育者支援が重要」という記載しかありません。職員配置基準の改善は、保育の質の向上、子どもの権利保障の観点からも必要不可欠です。こども大綱に、職員配置基準改善の理由を加筆してください。
- こども大綱に、乳幼児の発達支援や保護者支援等、保育施設が現在すでに果たしている役割を明記してください。そのうえで、今後、保育士・保育施設等に期待する点とそのために必要な施策について、目標と達成期間を明らかにし、記述してください。

【意見の理由】

私たちの実施した「全国保護者アンケート」では、安心して預けることができる保育士1人が受け持つ子どもの人数について聞きました。(別紙参照)

保護者には、保育士のような「保育のプロ」としての専門性はありません。しかし、日々の子育ての中で、その幸せとともに、大変さ、難しさを痛感しており、昨今の保育施設での事故に心を痛め、大きな不安を感じています。政府の発表された「こども未来戦略方針」においても、「安心してこどもを預けられる体制整備」という文脈で保育士配置基準の改善が記述されていました。今回のアンケートでは、その記述に沿う形で、「保育士1人がみる子どもの人数はどのくらいが安心できますか？」と設問を立てたものです。

その結果、0歳児2人、1歳児3人、2歳児3～4人、3歳児5～10人、4歳児10～15人、5歳児10～15人と、おおむね国基準の2倍の保育士配置を保護者が求めていることが明らかになりました。私たちの運動スローガンである「子どもたちにもう1人保育士を！」と照らし合わせるなら、「すべての年齢において、子どもたちにもう1人保育士を！」ということが、全国の保護者の願いであることが示されたと言えます。

今回の中間整理において、「子どもの意見表明権」「最善の利益」「遊びの機会」が強調され、子育て当事者への支援についても大きく紙幅が割かれたことは高く評価しています。

他方、それらの点について、保育士や保育園の役割が明記されなかった点については不満も感じています。

なぜなら、保育園においては、それらのことは保育をおこなうにあたっての根本理念としてすでに位置付けられており、一人ひとりの保育士も、園も、その実現に全力で努力しておられるからです。私たち保育園に子どもを預ける保護者は、子どもは「乳幼児期から生まれながらに権利の主体である」ということ、「人格を持った個として尊重」されるべき存在であること、そのために大人がどのように子どもと関わるべきかなど、様々なことを保育士や園から教えられ、「親」としても育てていただきました。日々仕事に追われ、家事・育児に追われ、何度も心が折れそうになりながら、それでも子育てを続けてこられたのは、我が子ともども、保育士・保育園に支えられてきたからです。

つまり、今回の中間整理にまとめられた、子どもの権利や保護者支援の重要な部分は、すでにこれまで保育園が果たしてきた・いることに他ならないのです。その現状認識の上に立って、今後の施策の議論が進められるべきと考えます。

一方で、「子どもの意見表明権」「最善の利益」「遊びの機会」等を保障し、保護者を十分に支援するだけの体制が今の現場にはない、ということもまた事実です。保育施設等における悲しい事故や事件が後を絶たない状況もあり、大変心を痛めています。

「全国保護者アンケート」にも、「ちょっと待ってね、今〇〇先生がいないから、戻ってきてからにしようか」とか先生の「ちょっと待ってね」が多いです。もっと先生がいたら、この「ちょっと待ってね」が無くなるんだろうなあと頻繁に感じます」「子ども同士のトラブルに気づけていない」「昼食後に園のトイレでウンチをして、職員が近くにいないとお尻を拭いてもらえずそのままパンツをはいて過ごして、帰宅後にパンツにウンチが広がってついてます」など、子どもの人権が守られていないと感じられる場面が多く記述されています。

また、「3歳の子どもが進級した際に、それまで毎日やりとりしていた連絡帳が、用事がある時だけ記入する事になり、日々の園での様子がよく分からなくなった」「保育士と直接話したいことが全く話せないくらい現場が常に慌ただしい」など、保護者支援やコミュニケーションの不足を訴える声も多く寄せられています。

「子どもや親へ寄り添ってくださる保育士さんであればあるほど、とても疲れているように見えます」「子どもに対して必要な人数だけでなく、余裕を持って保育士さんがいることで、クラスや職員、保護者のサポートも手厚くできて、子育て支援、親支援にもつながると思う」「先生になりたいと思う人がこれ以上減らないよう、心身ともに安心して保育ができる環境を整えてほしいです」といった声に代表されるように、私たち保護者は、子どもたちのためにも保護者のためにも、保育士配置基準を抜本的に改善し、保育士の働く環境を整え、保育士が働き続けられる保育園にしてほしいと切に願っています。

今回の中間整理には「乳幼児を含む低年齢のこども（略）も自らの意見を持ち、それを表明することができるという認識のもと、言語化された意見だけでなく様々な形で発する思いや願いについてくみ取る」と記述されました。そのためには、身近な大人、特に保護者と、「保育のプロ」である保育士・保育園の役割が極めて重要です。また、子育て初心者である保護者が、「思いや願いについてくみ取る」ことのできる大人になるためにも、保育士・保育園の支援は不可欠です。その実現のためには、保育士・保育園の大幅な体制拡充が必要です。

6月に発表されたこども未来戦略方針において一定の改善が示されましたが、具体的には「積み残しの課題」の実行に留まっています。ぜひ「こども大綱」において、保育士配置基準や処遇改善の抜本的かつ具体的な目標を、その達成期間とともに掲げ、国を挙げて「こどもまんなか社会」の早期実現を推進してください。

子どもたちにもう1人保育士を！全国保護者アンケート 集計結果(10/21)**調査の概要**

○ 調査実施主体

子どもたちにもう1人保育士を！全国保護者実行委員会
(2023年10月19日時点で神奈川、岐阜、愛知、京都、大阪、福岡の保護者が参加)

○ 調査に至る経過と調査の目的

3月31日に示された「こども・子育て政策の強化について(試案)」や6月13日に発表された「こども未来戦略方針」において「75年ぶりの配置基準改善」が明記された。しかし、その後の国会質疑や報道では、運営費の「加算」による対応ということが示されている。

それに対し、子どもたちにもう1人保育士を！実行委員会に結集する全国の保護者は、「児童福祉施設の設備及び運営に関する基準」の定めるいわゆる最低基準としての「保育士配置基準」の改善を求め、「加算では不十分」との立場のもと、全国保護者実行委員会を立ち上げた。

本調査では、全国の保育園に子どもを預けている保護者へ向け、現行の保育士配置基準についての認識を把握するとともに、意識啓発を図り、国・こども家庭庁へ届ける保護者の声を得る目的で実施した。

○ アンケート票

アンケートはGoogleフォームで作成し、QRコードやSNSを活用することで、全国の保護者にアンケートが行きわたるよう調査を設計した。同時に、保護者への意識啓発を図るため、保育者向けアンケートの結果や、子どもたちにもう1人保育士を！実行委員会作成の「提言」から課題要求を抜粋して掲載したチラシを作成し、そのチラシにQRコードを掲載して頒布した。

○ 項目作成の特徴・工夫

Googleフォームの冒頭にもチラシを掲載し、意識啓発を図った。また、一つひとつの設問に、図表やイラストを添付し、この運動に初めて触れる保護者でも理解しやすいよう工夫した。

○ 調査の方法

SNS(主に全国保護者実行委員会のInstagramや子どもたちにもう1人保育士を！実行委員会のTwitter)を活用し、GoogleフォームのURLを頒布した。

全国保護者実行委員会の保護者の在住都道府県など、直接配付が可能な地域ではQRコードを掲載したチラシを紙媒体で配付した。また、全国実行委員会(保育者)と連携し、各地の保育団体などにおいてチラシ配付やURL頒布の協力を依頼した。

○ 調査期間

2023年5月26日から2023年10月31日(予定)

○ 回収状況

2023年10月21日までに、6,765件のアンケートを回収した。

子どもたちにもう1人保育士を！全国保護者アンケート 集計結果(10/21)

全体の回収状況

10月21日現在で 6,765 件の回答を得た。

回答者の属性

居住の都道府県

10月21日現在で 47 都道府県から回答を得ている。
そのうち、 13 都道府県では100件を超える回答がある。

居住の区市町村

10月21日現在で 554 区市町村から回答を得ている。
そのうち、 10 区市町村では100件を超える回答がある。

問 お子さんの年齢を教えてください。(複数回答可)

子どもの年齢(クラス)	人数	率
乳児:0~2歳	3227	48%
幼児:3~5歳	3683	54%
卒園家庭	2212	33%
その他	61	1%
合計	6,765	

回答した人のうち、乳児クラスに子どもを預けている保護者が48%、幼児クラスに預けている保護者が54%だった。
卒園家庭は33%だが、在園中の子どものとは別に卒園児童がいる家庭も含まれており、完全卒園家庭の人数ではない。
完全卒園家庭は17%だった。

問 お子さんの通っている保育施設の運営主体を回答ください。(複数回答可)

運営主体	人数	率
公立園	2955	44%
民間園	3596	53%
わからない	410	6%
合計	6,765	

回答者の子どもが通う保育施設の運営主体は、公立44%、民間53%であり、民間が若干多い。
きょうだいで公立・民間に分かれて通っている家庭も3%あった。

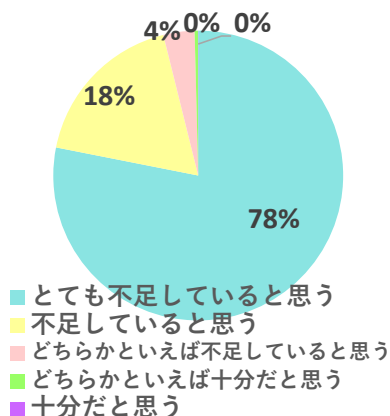
問 お子さんの通っている保育施設の種類の回答ください。(複数回答可)

施設の種別	人数	率
認可保育園	5409	80%
認定こども園	850	13%
認可外保育園	232	3%
わからない	163	2%
その他	314	5%
合計	6,765	

回答者の子どもが通う保育施設は、認可保育園が80%と圧倒的に多く、認定こども園が13%である。
認可外施設も3%と、一定の回答がある。きょうだいで別々の施設に通っている家庭も少なくない。

子どもたちにもう1人保育士を！全国保護者アンケート 集計結果(10/21)

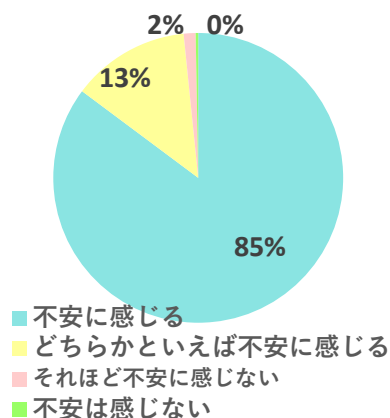
問1 現在の日本の配置基準について
どのように感じましたか？



現在の日本の配置基準について感じる事	人数	率
とても不足していると思う	5,284	78%
不足していると思う	1,219	18%
どちらかといえば不足していると思う	235	3%
どちらかといえば十分だと思う	25	0%
十分だと思う	2	0%
合計	6,765	100%

「とても不足していると思う」～「どちらかといえば不足していると思う」
合計 99.6%

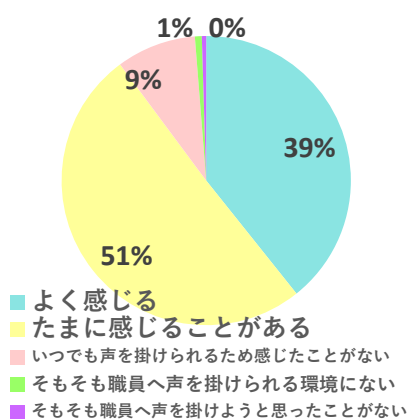
問2 保育者向けのアンケートに寄せられた
意見について不安に感じますか？



保育者向けのアンケートに寄せられた意見に対する不安	人数	率
不安を感じる	5,764	85%
どちらかといえば不安を感じる	892	13%
それほど不安に感じない	90	1%
不安は感じない	19	0%
合計	6,765	100%

「不安を感じる」～「どちらかといえば不安を感じる」
合計 98.4%

問3 保育園の送迎時に保育士が忙しそうで
声を掛けづらいと感じたことが
ありますか？

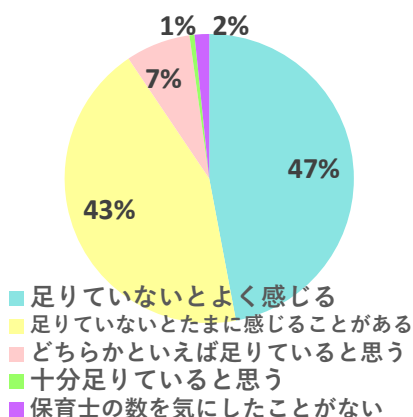


保育園の送迎時に保育士が忙しそうで声を掛けづらいか	人数	率
よく感じる	2,657	39%
たまに感じることもある	3,421	51%
いつでも声を掛けられるため感じたことがない	602	9%
そもそも職員へ声を掛けられる環境にない	52	1%
そもそも職員へ声を掛けようと思ったことがない	33	0%
合計	6,765	100%

「よく感じる」～「たまに感じる」
合計 89.8%

子どもたちにもう1人保育士を！全国保護者アンケート 集計結果(10/21)

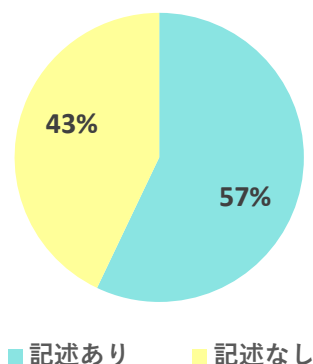
問4 子どもを保育園に預けているなかで
職員が足りていないと感じたことは
ありますか？



子どもを保育園に預けていて職員が足りないと感じるか	人数	率
足りていないとよく感じる	3,182	47%
足りていないとたまに感じることもある	2,945	44%
どちらかといえば足りていると思う	490	7%
十分足りていると思う	38	1%
保育士の数を気にしたことがない	110	2%
合計	6,765	100%

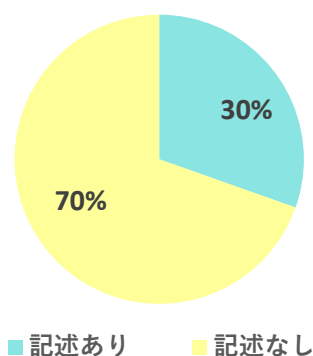
「よく感じる」～「たまに感じる」
合計 90.6%

問5 問4で「足りない」と回答された
方で具体的な場面があれば記入
してください。



問4で「足りない」と感じた具体的な場面についての記述	人数	率
記述あり	3,497	57%
記述なし	2,630	43%
合計	6,127	100%

問7 その他に職員の配置基準について
ご意見があれば記入してください。



その他、職員の配置基準についての意見	人数	率
記述あり	2,058	30%
記述なし	4,707	70%
合計	6,765	100%

子どもたちにもう1人保育士を！全国保護者アンケート 集計結果(10/21)

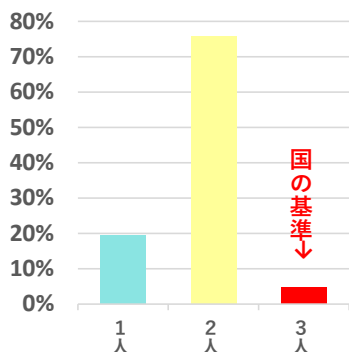
問6 保育士1人がみる子どもの人数はどのくらいが安心できますか？

【0歳児】

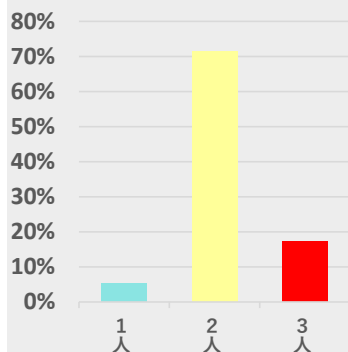
子どもの人数	人数	率
3人(国基準)	325	5%
2人	5,130	76%
1人	1,310	19%
合計	6,765	0%

平均 1.85 人
国基準に対し 1.62 倍

※保護者の声



(参考)保育士アンケート結果

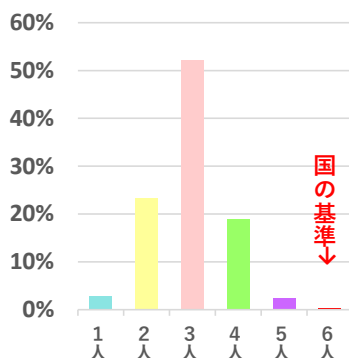


【1歳児】

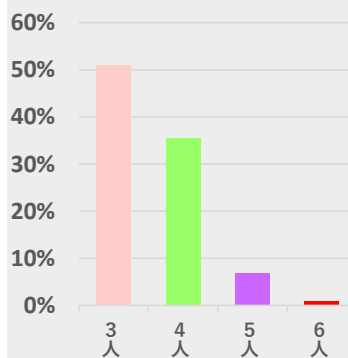
子どもの人数	人数	率
6人(国基準)	27	0%
5人	161	2%
4人	1,277	19%
3人	3,535	52%
2人	1,572	23%
1人	193	3%
合計	6,765	0%

平均 2.96 人
国基準に対し 2.03 倍

※保護者の声



(参考)保育士アンケート結果

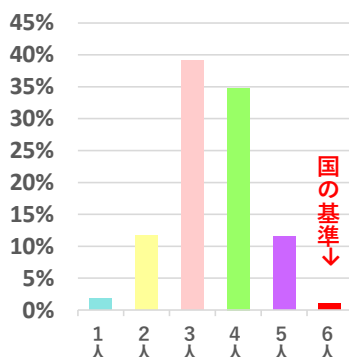


【2歳児】

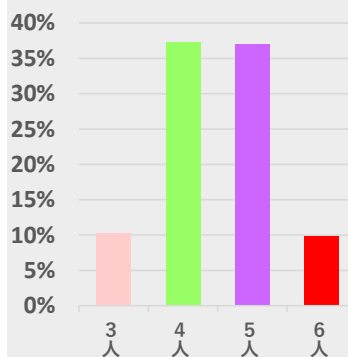
子どもの人数	人数	率
6人(国基準)	68	1%
5人	784	12%
4人	2,355	35%
3人	2,647	39%
2人	792	12%
1人	119	2%
合計	6,765	0%

平均 3.46 人
国基準に対し 1.74 倍

※保護者の声



(参考)保育士アンケート結果



(参考)として掲載したのは2022年2月～4月にかけて、「子どもたちにもう1人保育士を！実行委員会」が愛知県内で実施し、2,468人から回答を得た保育者向けアンケートにおける同様の設問の結果。その時の設問は「適切だと思うもの」としていた。保護者には、保育士のような専門性があるわけではないが、日々の子育ての中で、その幸せとともに、大変さ、難しさも痛感している。そのため、今回の全国保護者アンケートでは、こども未来戦略方針における「安心してこどもを預けられる体制整備」に沿う形で、「安心できますか？」として設問を立てた。いずれの年齢においても保育士アンケートをさらに上回る改善を求めている。

子どもたちにもう1人保育士を！全国保護者アンケート 集計結果(10/21)

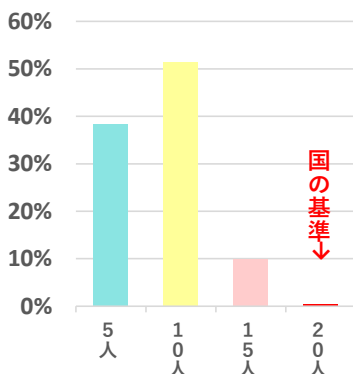
問6 保育士1人がみる子どもの人数はどのくらいが安心できますか？

【3歳児】

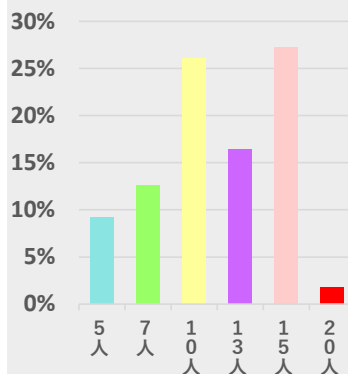
子どもの人数	人数	率
20人(国基準)	31	0%
15人	665	10%
10人	3,478	51%
5人	2,591	38%
合計	6,765	0%

平均 8.62 人
国基準に対し 2.32 倍

※保護者の声



(参考)保育士アンケート結果

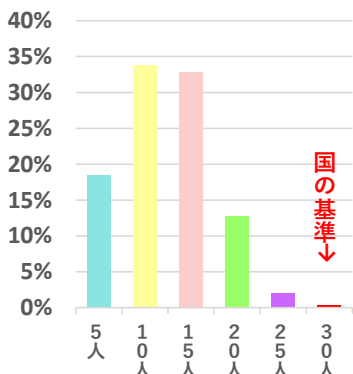


【4歳児】

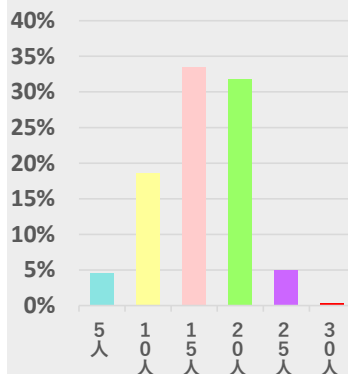
子どもの人数	人数	率
30人(国基準)	24	0%
25人	133	2%
20人	860	13%
15人	2,217	33%
10人	2,284	34%
5人	1,247	18%
合計	6,765	0%

平均 12.35 人
国基準に対し 2.43 倍

※保護者の声



(参考)保育士アンケート結果

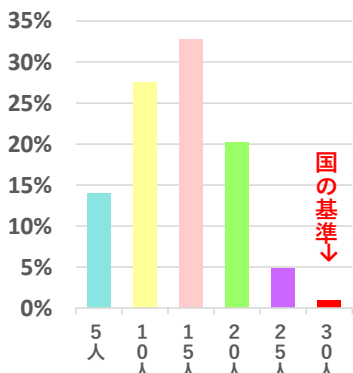


【5歳児】

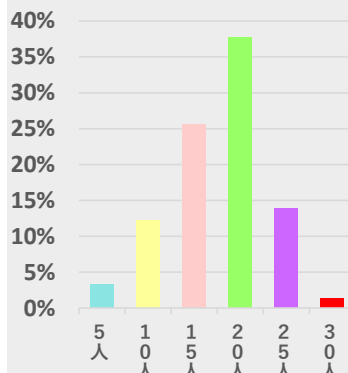
子どもの人数	人数	率
30人(国基準)	60	1%
25人	326	5%
20人	1,367	20%
15人	2,213	33%
10人	1,858	27%
5人	941	14%
合計	6,765	0%

平均 13.86 人
国基準に対し 2.16 倍

※保護者の声



(参考)保育士アンケート結果



(参考)として掲載したのは2022年2月～4月にかけて、「子どもたちにもう1人保育士を！実行委員会」が愛知県内で実施し、2,468人から回答を得た保育者向けアンケートにおける同様の設問の結果。その時の設問は「適切だと思うもの」としていた。保護者には、保育士のような専門性があるわけではないが、日々の子育ての中で、その幸せとともに、大変さ、難しさも痛感している。そのため、今回の全国保護者アンケートでは、こども未来戦略方針における「安心してこどもを預けられる体制整備」に沿う形で、「安心できますか？」として設問を立てた。いずれの年齢においても保育士アンケートをさらに上回る改善を求めている。

全国保護者アンケート中間報告 保護者から寄せられた声（一部抜粋）

保育者が「足りていない」と感じた具体的な場面について

1.送迎時

- ・朝の送りの時に、今年年少になった娘は毎朝なかなか離れる方ができずにはいますが、今年新任で入った先生しかお部屋にいないことが多く、その先生もまだ全体を見るより目の前の子の対応でいっぱいといった様子のため、なかなか子どもを受け入れに來れなかったり、こちらの状況に気づいて対応できる感じではないことが多いです。そのため朝なかなか子どもを預けられず、仕事の時間に間に合わなくなってしまうこともあります。（千葉県・千葉市）
- ・朝子どもを送る場面。息子はほぼ毎日泣くので、先生に抱っこしてもらわないと別れられないのですが、ちょうど他の子ども何人か登園してくる時間帯なので、すごく申し訳なく思います。保育士さんが増えれば、安心して子どもとも別れられるのにな…と思います。（愛知県・名古屋市）
- ・出勤前に子供を園に送るが、先生の出勤人数が少ないため「5分でもいいので、遅く来てほしい」と頼まれた。こちらとしては園から職場までの通勤時間を考えると厳しいが、先生がそこまで頼むのはそれ程厳しい状況なのだと感じる。（埼玉県・秩父市）
- ・朝夕の送迎時、2人体制で見てもらっている。トイレなどの付き添いで保育士さんが1人いなくなると、残りの子供を1人で保育している。トイレにいったおいで、と声をかけている姿も見られる。現場の保育士さんは十分頑張ってくれていることは理解しており、それに不満があるわけではない。保育士さんの休息の時間や、もし事故があったときの保育士さんの心身の負担を考えると足りていないと思う。（奈良県・天理市）
- ・転園前の保育園では本当に人がいなくて、朝行くと職員がひとりでした。しかも子どもを見ずに仕事をしている時もあり、不測の事態が起こったらと思うととても不安でした。また、夕方のお迎えのときもひとりしかおらず、仕事があるせいか、テレビを見せて子どもを放置していて、とても保育園で十分な保育ができているとは考えられませんでした。（愛知県・名古屋市）
- ・送迎時、子供を預けた後に子供が脱走して親の私を門の外までおいかけてきた。その際先生も飛び出してきたことに気づいていないようだった。自分がすぐ気づいたから良かったが、気づいておらず園外に出ていたらと思うと怖い。（兵庫県・宝塚市）
- ・子どもを迎えに行った時、子どもが教室におらず、数分の間ではありますが行方不明になった事がありました。先生が絵本の読み聞かせをしている間にふらっと抜け出し、使っていない部屋にこっそり入っていたようです。出入り口に近い部屋で、お迎えの時間ということもあり出入り口が開放されている時間だったので、もしそのまま外に出てしまっていたら…と思うと、とても恐かったです。もう少し大人の人数が多ければ、読み聞かせをする先生、読み聞かせに興味がなく別の遊びに付き添う先生、出入り口で全体を見守る先生など、ゆとりをもった配置ができるかなと思います。（愛知県・長久手市）
- ・先生方には頭が上がらないくらい、とても頑張ってくださいと思っていますが、送迎時にもう少しお話ができるとより安心できると思います。乳児クラスでは、自身の子も含め、朝まだ泣いてしまう子や、つられて泣いてしまう子もいます。そのような状況で話すことができない、ということも多々ありますが、子どもたちを安心させてあげるためにも、どこの園にも先生の数はもっと増やして欲しいです。（愛知県・名古屋市）

2.報告・連絡・相談などコミュニケーションの場面で

- ・背中にかまれた跡があっても、何も連絡がないこともあり、目が行き届いていないのか、連絡をする余裕がないのかなあと感じた。先生たちは懸命に保育をされており、親にも声をかけてくれようとしているけれど、いつもいっぱいいな感じで、なかなか聞きたいことをタイムリーに相談することはできなかった。（愛知県・名古屋市）
- ・子どもが口の中を怪我して帰って来たことがあったが、先生方も子どもの数が多いため把握していなかったようだった。ときどき連絡ノートに記入することがあるが、多忙なようで見ていないことがあった。体調不良の欠席連絡を電話でしたが、担任の先生に伝わっておらず、確認の電話がかかって来たことがあった。どれも多忙なため対応できないことだと感じた。（愛知県・長久手市）
- ・先生方は早出や遅出もあり、担任の先生が必ずいるとは限らない状況です。預けている身としては、日々どんなことをしたか些細な事でも聞けると安心しますし、子どもとのコミュニケーションにもなりますので知りたいことが多いのですが、お迎え時も先生は少ない人数で見ていただいており、なかなか気を遣ってしまい話しかけられないことも多いです。（埼玉県・戸田市）
- ・保育士と直接話したいことが全く話せないくらい現場が常に慌ただしい。（鹿児島県・与論町）
- ・話したいけど、子供に目をかけるのが必死で声をかけづらい。悩みとか、普段の様子とか話したいのに。（山形県・山形市）
- ・いつも忙しそうにしている保育士さんには感謝の気持ちでいっぱいですが、少しお話する時間も欲しいです。トイレに行く暇もないとも聞きます。先生があとひとり(フリーでも)いるだけで全然違うかと。事故など何かあってからでは遅いです。少子化対策？保育園の配置基準は後回しですか？（神奈川県・横浜市）
- ・送迎時、保護者対応の時間を設けるのが難しそうで話し掛け辛い。コミュニケーションは全てお便り帳、個人懇談は子ども同伴なため、相談したいことがあっても相談しにくい(特に子どもに聞かれない内容)。ただ子どもを安全に預ければいいというわけではなく、保護者支援という観点からみてても保育士の人数を増やして欲しい。（愛知県・長久手市）

3.保育士の様子から

- ・保育士さんたちがとても疲れているように見えるから。膀胱炎になった保育士さんがいると聞いて、忙し過ぎてトイレ行けないのだと知った。（愛知県・一宮市）
- ・子どもや親へ寄り添ってくださる保育士さんであればあるほど、とても疲れているように見えます。（東京都・町田市）
- ・休憩が取れてない事。保育園ですが、子供の昼寝中が休憩みたいになっているが、実際は連絡帳を記入したり、教員会議があったり、起きる子供の相手や寝かしつけをしたり、休憩になっていない。（佐賀県・佐賀市）
- ・保育園で、通訳として働き始めて気づきましたが、子どもたちが何人かが同時に対応しないといけな状況が出てきた時に、1人では確実にやっていけないな、と感じる場面が多々あります。この状況が毎日続くと、確実に保育士さんの精神は消耗してしまいます。また、休憩もあってないようなものです。休憩時も何か行事の制作をしていたり、子どもから離れて完全に休憩することはできません。サービス残業もよくあると聞きます。私も休憩中に何かしら制作のお手伝いをしたりしていますが、本来は休憩は仕事から離れてするもののはずです。（三重県・松阪市）

- ・こどもへ注意する時にイライラしたような言い方をしている時。余裕がないのだと感じます。新人で入った保育士さんが、日に日に笑顔が消えていくときに忙しすぎて疲れているのだなと感じ不安になります。（神奈川県・南足柄市）

4.怪我やトラブル

- ・子どもが園で怪我をしたとき、怪我をしたことは把握されていたのですが、いつ、どんな状況で怪我をしたのか「気づかなくてすみません」とおっしゃっていて、先生が悪いのではなく、人が足りなくて忙しすぎるのだと思いました。（大阪府・高槻市）
- ・日々のルーティンをこなすのに精一杯で子どもの気持ちに寄り添った対応が十分にされていないと感じる。子ども同士のトラブルで怪我を負った際、子ども同士で解決するように先生から言われたため見放されたと思い、1人で痛みを耐えながら傷口を洗ったと子どもから聞かされた時は、衝撃とそのような環境でも預け続けるしか手立てが無いことに罪悪感を感じた。（京都府・京都市）
- ・子供同士のトラブルに気づけていない。結局は親が発見しさらにトラブルになることも。子供の立場になるとこんな保育園嫌だと思えます。先生方には本当に感謝で保育園があるから私たちもお仕事ができます。お金で解決では意味がない。安心、安全な保育園でいてほしいので、人員配置は欠かせない。（神奈川県・横浜市）
- ・子どもがトイレに行く時、子ども達が特別な活動をする時、具合の悪い子が出た時、子ども同士のトラブルが発生した時、他の保護者が先生と話している時など。トラブルに対処できない配置基準はおかしい。過酷な環境で働いてくれている保育士に対して待遇が悪すぎる。（東京都・世田谷区）
- ・4月に入園してから今まで、お友達に2回噛まれており、しかもそのうちの1回は職員が気づいておらず、私がお家に帰ってから歯型に気づいて発覚しました。先日も、園庭に風で運ばれてきたタバコの吸殻のフィルターをうちの子が口に入れたことがありました。職員がもっと多ければ、目が届くのにと思いました。（富山県・富山市）

5.園内・園外活動・子どもとの関わり

- ・うちはまだ2歳になっていないくらいなのですが、1人で広い園庭で、誰も見ていない中に大きな滑り台の階段を1人で登って行ってしまいました。足を滑らせたなら平気で1メートル以上下に落ちてしまいます。不安だと感じました。また、慣らし保育の際、砂場で砂や石を口に入れてるのに全く気づかない先生の代わりに止めさせたこともありました。（熊本県・大津町）
- ・お散歩中に我が子が行方不明になり、警察沙汰になった。引率する保育士が少なく、他の園児にも2次被害が起きるところだった。（埼玉県・所沢市）
- ・お散歩や園外での活動等の時に、園児が十数名いるだろうとされる場に先生が普通2人だったりする所を見かけると、安全性への配慮も先生方への配慮も不十分だと感じます。（広島県・広島市）
- ・2つの教室に全学年を集めて、テレビ鑑賞かついたてで囲った中でもおもちゃ遊びをよくしている場面を見かける。その際の保育士は1部屋に3人程度。とても目が行き届いているとは感じられない。（茨木県）
- ・夕方子どもたちが自由遊びの時間、「先生、これやっていい?」「ちょっと待ってね?」や「先生〇〇遊びがしたい」「ちょっと待ってね、今〇〇先生がいらないから、戻ってきてからにしよう

か」とか先生の「ちょっと待ってね」が多いです。もっと先生がいたら、この「ちょっと待ってね」が無くなるんだろうなぁと頻繁に感じます。（愛知県・名古屋市）

- ・息子が通う園は、昨今の事情からプール遊びがなくなっていました。リスクが高く、人員が足りないのが理由です。人員がいればリスク軽減にもなります。子どもがやりたい、やってみたいと思える活動ができる日本の安全安心な保育園であって欲しい。（東京都・練馬区）

6.排泄・トイレ・着替えなどのケア

- ・トイレの補助など教室を出て対応しないといけない場面になると、残った先生だけで教室内の園児の対応をしないといけなくなり、明らかに足りていないと感じる。その際にトラブルなどが起きていると、とてもしんどそう。（兵庫県・神戸市）
- ・特に2歳、3歳児クラス。まだ排泄、着替え、身支度等自分でできない子もいる中で今の配置は考えられない。先生が1人の時にお漏らし等してしまったらどうするのか？実際にも1人の先生がトイレにつきっきりで、教室には誰もいなかった場面を見たこともある。物理的に無理。安全性に関わる。（愛知県・長久手市）
- ・2ヶ月に1度ぐらいあります。昼食後に3歳が園のトイレでウンチをして、トイレトペーパーが自分で切り取れなくて、職員が近くにいないとお尻を拭いてもらえずそのままパンツをはいて過ごして、帰宅後にパンツにウンチが広がってついています。本人も気持ち悪く過ごしていて、次の日はきれいなパンツでもパンツ自体をはくの嫌がります。（愛知県・名古屋市）
- ・3歳の子供が進級した際に、それまで毎日やりとりしていた連絡帳が、用事がある時だけ記入する事になり、日々の園での様子がよく分からなくなった。また、お漏らしした際に、下着を水洗いしてもらえず、そのまま汚物袋に入れて持って帰らされていたので、悪臭が酷く衛生面も心配になり、先生に水洗いをお願いしたところ、人手がないから難しいとハッキリと断られた。（福岡県・福岡市）

7.給食・アレルギー対応

- ・他の保護者が給食時に迎えに行った時に、自分の子が喉に詰まらせているのを見て、先生に声をかけた。当時コロナで室内に保護者が入れなかったので、見守るしかなかった。その保護者からたまたまだったのか日常的にあるのかわからないと聞いて怖くなった。（東京都・江東区）
- ・毎日先生方にはとてもお世話になっており、感謝しております。食事の際やお外で遊んでいる時などにお迎えに行くことがあるのですが、とてもよくしてくださっていますが、やはり目が足りない、手が足りてないと感じるシーンがあります。私は1歳児のこどもがいますが、手前で一方のこどもがもう一人を食事中に叩いてしまって、奥ではお皿をひっくり返しているこどもがいたり、他方ではスプーンで机を叩いていたり……。せめてもう一人増やすことが出来たら、と思うシーンがよくあります。（兵庫県・神戸市）
- ・園内でアレルギーのある子どもに対して、アレルギー非対応の給食を与えていたことがあった。（大阪府）

8.支援が必要なこどもへの対応

- ・年長のダウン症の娘を育てています。年中から保育園に預けようと思学に回りましたが、親から見ると他の子に危害を加えたり急に道路に飛び出したりすることのない大人しいタイプに見えますが、気持ちの切り替えが苦手な方向に歩けないということで断られた園がありました。健常のお子さんの親なら園舎がきれいとか能力を伸ばせそう等選べる時代になってきました

が、まだまだ障害児の親は「手が足りない」で断られています。成長がゆっくりでも保育園が必要な親子はいますが、そういう子どもでも幅広く受け入れられるぐらい保育士さんが足りている基準になって欲しいと切実に願います。(東京都・清瀬市)

- ・息子は発達が遅やかで、加配保育士を付けて頂くには至らないにしても、手がかかります。クラスの中にはわが子のような子もいる中で、先生方にはいつも丁寧に対応して頂いて感謝の気持ちと同時に、申し訳無さも、日々感じています。もう1人保育士さんがいたら、より安心かと感じます。(大阪府・枚方市)
- ・医療的ケア児を通わせています。朝の体調確認が他のお子さんより項目が多いのですが、泣いている子を両手に抱えて、また他のお子さんをみていらっしゃるのに体調確認していただくのを大変な中でお話するのを申し訳なく思っています。先生方の努力で何とかなっているかと思いますが負担軽減が必要だと思えます。(愛知県・名古屋市)

配置基準に対する意見

- ・子どもに対して必要な人数だけでなく、余裕を持って保育士さんがいることで、クラスや職員、保護者のサポートも手厚くできて、子育て支援、親支援にもつながると思う。保育士さんの負担を軽減させることで、保育士さんが元気に働き、子ども達を安心して預けることができると思う。そのためには、国が責任を持って財源を確保し(防衛費や他の国への支援ではなく)最低基準の改善をする事が必要だと思う。(高知県・大豊町)
- ・子どもたちだって十人十色で色々な考えや、色々なタイミングで問題を起こしたり、イレギュラーなハプニングがあったりするので、先生の負担になると多忙さから子どもに当たってしまう先生もおられても無理ないよな…と思う事もあります。やはりそういったときどの子も先生の的になって欲しくはないので(とても信頼して預けているので)少しでも先生方の負担が減りますようお願いしております。(岡山県・岡山市)
- ・今の保育士の働く環境のリスクを考えると、自分の子供が保育士になりたいと言ったら、絶対反対します。一部の不適切な保育がフォーカスされ過ぎていて、何が適切な保育なのか迷走していると思えます。(神奈川県・川崎市)
- ・基準を検討する立場の方は、実際に保育現場の一日を年齢ごとに視察・体験いただきたい。どう考えても今の基準では、安全上でも発達上でも質の良い豊かな保育を受けられているとは言えない。保育士を増やすためには、保育士の処遇もよくならなければならないため、根本から早急に見直す必要があると思えます。安心して預けられる保育園を増やしてもらいたいです。(広島県・広島市)
- ・何かあってから対応するのでは遅いと思えます。自分の子どもの面倒を見るのが精一杯な親がほとんどの中、先生たちはその何倍もの数の子どもたちを見てくれています。親ですら子どもに怪我をさせたり、危険な目に合わせたりすることがあるのに、「先生はプロだから」という理由でたくさんの子どものを見ていて起こってしまった問題で責任を問われるのはおかしいと思えます。防いでくれた怪我や危険の方が何倍も多いはずなのに、それが知られることはありません。先生になりたいと思う人がこれ以上減らないよう、心身ともに安心して保育ができる環境を整えて欲しいです。(愛知県・名古屋市)